

Rotary International District 2660

国際ロータリー 第2660地区 地区委員会活動計画書 2006～2007年度



合同地区委員会開催
2006.7.8(土)大阪YMCA会館
ガバナー 岩田宙造

* 06～07年度 活動計画書の訂正と変更のお願い

※ 記述の中で以下に誤りがございましたので、恐れ入りますがご訂正をお願い致します。

頁	訂正前	訂正後														
16	<p style="text-align: center;">国際ロータリー第2660地区ローターアクト 2006～2007年度 地区行事</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">年</th> <th style="width: 10%;">月</th> <th style="width: 10%;">日</th> <th style="width: 10%;">曜日</th> <th style="width: 20%;">行事名</th> <th style="width: 15%;">ホスト</th> <th style="width: 15%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">07</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">3～5</td> <td style="text-align: center;">木～土</td> <td style="text-align: center;">春のライラ</td> <td style="text-align: center;">大阪梅田 RC</td> <td style="text-align: center;">淡輪</td> </tr> </tbody> </table>	年	月	日	曜日	行事名	ホスト	備考	07	5	3～5	木～土	春のライラ	大阪梅田 RC	淡輪	大阪北梅田 RC
年	月	日	曜日	行事名	ホスト	備考										
07	5	3～5	木～土	春のライラ	大阪梅田 RC	淡輪										
39	2005～2006年度 国際ロータリー第2660地区 地区資金・特別会計・地区基金会計予算	<u>2006～2007年度</u> 国際ロータリー第2660地区 地区資金・特別会計・地区基金会計予算														
40	地区審議会地区代表議員 吉川 謹司 (東大阪東)	<u>規定</u> 審議会地区代表議員														
40	ローターアクト委員会 中安 敏人 (大阪西)	ローターアクト委員会 中安 敏人 (大阪西)														

目次

目次

合同地区委員会を開催するにあたり	1
地区ガバナー指名委員会	2
意義ある業績賞委員会	3
国際大会記念事業委員会	4
クラブ奉仕部門	
クラブ奉仕・拡大増強委員会	5
情報・広報委員会	7
職業奉仕部門	
職業奉仕委員会	8
社会奉仕部門	
社会奉仕委員会	9
青少年奉仕部門	
新世代合同委員長会議	11
青少年活動委員会	12
ローターアクト委員会	14
インターアクト委員会	17
国際奉仕部門	
国際奉仕委員会	19
世界社会奉仕委員会	20
青少年交換委員会	21
ロータリー財団部門	
ロータリー財団委員会	22
財団情報・増進委員会	23
財団奨学金・学友委員会	25
研究グループ交換委員会	28
財団人道的補助金委員会	31
米山奨学部門	
米山奨学委員会	33
地区大会	35
ロータリーの友	36
財務委員会	37
地区資金・特別会計・地区基金会計予算	39
地区組織図	40

合同地区委員会を開催するにあたり

ガバナー 岩田 宙造

2006～2007年度の地区委員という大役をお引き受けくださいましたことに心から感謝いたしますとともにこれから一年間私と一緒に地区内クラブの活性化にご尽力いただきますことをお願い申し上げます。

ロータリーはすでに第2世紀がスタートしました。ロータリーの基本をあらためてよく理解し、目標に向かって私達ロータリアンが一丸となって率先して活動することが期待されています。これまでの地区の方針であるクラブを主体とする活動、この素晴らしい伝統と成果を引継いで更なる発展をするためには地区委員会の皆様の積極的な活躍が必要となります。

今年度は、『Lead The Way、率先しよう』のテーマの下に、皆様方にはこれまでの豊かな経験と深い知識を生かしていただいて、今一度地区委員としての使命を自覚し、その任に当たってくださることをお願いいたします。

地区運営に関しましては、効率化と、皆様方との情報の共有に努めたいと思います。地区リーダーシッププラン（DLP）のもとに、ガバナー補佐の皆様には、地区研修リーダー、地区委員会との意思疎通を図り、三者一体となって、各クラブとの情報交換、さらにはクラブの効果的な活動を支援していただきたいと考えています。

毎月のガバナー補佐会議、新たに、地区委員長との意見交換会、さらに情報の収集、共有のために地区ホームページの充実を行いますので充分にご活用ください。

地区活動に関しては、継続性の重要性を考慮し、RI会長の強調事項の実践には親睦と教育を副題として加えました。会長賞（ローターアクト会長賞も含む）受賞には積極的に参加を奨励いたします。また近年注目されDLPの一環でもある内部組織の変更に関するクラブリーダーシッププラン（CLP）についても十分に検討をお願いし、そのための支援を地区としても積極的に行いたいと思います。CLPに関しては懇談会を設け、プランの十分な検討とクラブへの適切な対応を行いたいと考えています。

なおゾーンコーディネーターとして、水保全：成川守彦会員、会員組織：亀岡弘会員、公共イメージ支援：美馬輝三会員がRIと地区との情報交換のためにご支援くださいますことをお知らせしておきます。

皆様には『ニーズを見極め、誠実な協力、ひたむきな努力』を期待し『率先して』活動をしていただきたいと願っています。委員会の活性化、脱マンネリ化と同時に予算の効率化も期待しております。

最後に、各クラブが推奨される効果的なロータリークラブとして活動されますよう地区委員会の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

地区ガバナー指名委員会

委員長 神崎 茂 (大阪西)

委員 寺田 和之 (大阪)

同 井上 暎夫 (千里)

同 若林 紀男 (大阪東)

同 宮田 宏章 (大阪北)

R I 細則13.010項に従い、2009～2010年度ガバナー・ノミネーを、ガバナーとして就任する日の直前24ヶ月以上30ヶ月以内に選出すべく努めます。

意義ある業績賞委員会

委員長 神崎 茂 (大阪西)

委員 若林 紀男 (大阪東)

委員 宮田 宏章 (大阪北)

ロータリークラブの有意義で卓越したロータリー活動に対して、R Iから「意義ある業績賞」が贈呈されます。そのために、各地区ガバナーは受賞クラブを選び、R Iに選定を証明する手続きをとることになっていますが、本年度の第2660地区における選定の基準及び手続きは次の通りであります。(申請手続については2004年版手続要覧P 69参照)

◇選定の基準

受賞資格を有するのはクラブのプロジェクトのみであること、又、推薦できるのは1地区につき1クラブであることにご留意下さい。既に「意義ある業績賞」を受賞したことのあるプロジェクトは、重ねて業績の認証を受けることはできません。「意義ある業績賞」に推薦するプロジェクトを選定する前に、次の選定基準を満たしているかどうか確認して下さい。

- ・地元地域社会の深刻な問題やニーズに取り組むものである(いかに意義あるものであっても、国際奉仕プロジェクトは本賞の受賞資格がありません。)
- ・単なる金銭的奉仕ではなく、クラブ会員の大半または全員が、直接参加しているものである。
- ・クラブの規模、および利用可能な資源に釣り合ったものである。
- ・地域社会におけるロータリーのイメージを向上させるものである。
- ・他のロータリークラブの模範となりうるものである。
- ・現在実施中、もしくは本賞が授与されるロータリー年度中に完了するものである(ただし、現ロータリー年度に開始されたものである必要はありません)。

国際大会記念事業委員会

特別顧問 近藤雅臣 (千里)
委員長 若林紀男 (大阪東)
委員 大谷透 (大阪西南)
同 常楽寺喜雄 (東大阪東)
同 早嶋茂 (大阪)
同 長澤利治 (茨木)
同 伊藤貞男 (大阪東)

2004年5月23日～26日の期間に開催された第95回RI国際大会の成功を記念し設立された当委員会は、いつまでも大阪国際大会の熱気と友情に包まれた思い出を残す為に、「ロータリー・プロムナード（ロータリーの散歩道）」と名付けた記念事業を企画し遂行致しております。

記念事業は現在進行中の中之島高速鉄道(株)（第三セクター）による中之島新線延伸工事（京阪天満駅より仮称玉江橋まで）が2009年開業の運びとなった時点で完結する予定であります。

国際大会のメイン会場となった大阪国際会議場・リーガロイヤルホテルの前に設置される（仮称）玉江橋から東へ約600m余りの長さに渡って記念の植樹をし、季節になると花を咲かせ「ロータリーの散歩道」として多くの市民に親しまれる名所となる事を期待した企画であります。事業そのものが少々ロングランではありますが、市当局並びに中之島高速鉄道(株)との連携を密にし、2660地区全ロータリアンの誇れる事業となる様、努力致します。

クラブ奉仕部門

クラブ奉仕・拡大増強委員会

委員長	川上善司	(大阪平野)
副委員長	足立陽一	(大阪中央)
副委員長	稲田明人	(八尾)
委員	南賀勝之	(大阪城南)
同	小寺潤一	(豊中)
同	藤沢肇	(大阪心斎橋)
同	松川雅典	(新大阪)
同	奥公男	(大阪イブニング)
同	井上家昌	(東大阪東)

基本方針

R I ボイド会長の「率先しよう」のテーマのもとに、岩田ガバナーの「ニーズを見極め、誠実な努力、ひたむきな努力を」の方針を実践するにあたり、現在ロータリークラブが抱えている共通の問題として「クラブ組織強化」「クラブ活性化」「会員増強」であります。

ロータリー長年の制度疲労もありますが、その大部分がクラブ奉仕・拡大増強委員会の課題であり「ニーズを見極め」研鑽を深め今期の委員会活動を図りたいと考えます。

奉仕の第2世紀において、こうした現状を踏まえ効果的なクラブ組織により、クラブ強化を図る目的でR I 推奨、クラブ・リーダーシップ・プラン「CLP」の検討を推奨し、より現実的なクラブ運営が出来るよう、ガバナー・ガバナー補佐との連携のもと、クラブの意向を尊重しながら「見極め、協力」していきたいと考えます。

本年度、岩田ガバナーが各クラブ純増一名の目標の達成を要請されておられます。地区として86名以上の純増を、各クラブの「ひたむきな努力」に出来得る限り協力したいと考えます。

会員増強こそロータリー活動のエネルギーであります。

活動計画

1. 拡大・増強セミナーの開催

日時 平成18年9月9日(土)

場所 薬業年金会館

テーマ 会員の維持と増強
 講師 R I 会員組織地域コーディネーター
 第2640地区パスト・ガバナー 亀岡 弘
 I M 8組別にてバズセッションの後、報告会

挨拶 岩田ガバナーより増強の挨拶と講評

2. 地区クラブ奉仕委員会 クラブリーダーシップ・プラン「CLP」セミナー

日時 未定

場所 未定

テーマ 「CLP」の実情にあった取組みについて

講師 未定

ガバナー補佐に賛成、反対の意見に分かれて討論会を予定

3. 2006年-7年度、全国地区増強委員長セミナーへの参加

テーマ 「会員増強の方針」他地区委員長とのバズセッション

4. ガバナー補佐会やI M組毎の会長、幹事会に出来る限り出席し、情報交換等を行いそれぞれの課題について連携を深めたいと考えます。

5. 2006年-7年度のR I 規定審議会で、採択されるR I 定款、R I 細則、標準クラブ定款等、クラブ規定、情報委員長会議で改正事項を、各クラブに周知徹底を図りたいと考えます。

6. 各課題について委員会を年間四回開催し、会長、幹事、クラブ奉仕委員長に其の都度、情報の提供等で協力していきたいと考えます。

7. I M組毎に当委員会より1名が担当しセミナーや会長、幹事会を通じガバナー補佐と協力を図りたいと考えます。

I. M. 組毎分担表 (敬称略)

組	ガバナー補佐名	クラブ数	クラブ奉仕委員会担当者
第1組	神内 紘典 (箕面)	8	小寺 潤一 (豊中)
第2組	岩井 祐造 (高槻)	12	井上 家昌 (東大阪東)
第3組	金森 市造 (くずは)	11	稲田 明人 (八尾)
第4組	井出 幸彦 (東大阪西)	9	松川 雅典 (新大阪)
第5組	鍛冶 正行 (大阪梅田東)	13	足立 陽一 (大阪中央)
第6組	小松 弘人 (大阪城東)	12	南賀 勝之 (大阪城南)
第7組	橋本 憲之 (大阪南)	11	藤澤 肇 (大阪心斎橋)
第8組	小山 隆三 (大阪阪南)	10	奥 公男 (大阪イブニング)

情報・広報委員会

委員長 左 藤 孜 (大 阪 南)

副委員長 西 村 真一郎 (大 阪 西)

委 員 谷 口 浩 (池 田 くれは)

同 早 嶋 茂 (大 阪)

同 溝 手 敦 信 (大 阪 東)

同 木 村 芳 樹 (大 阪 南)

同 中 筋 一 朗 (大 阪 西)

基本方針

国際ロータリー会長は、いずれもロータリーが活動する上で情報広報の重要性を力説しているが、委員会としてもこの方針を体し効果的な広報活動を推進する。特に各クラブとの連絡を密にし必要な情報を共有し、ロータリークラブのイメージアップに努める。

活動計画

1. 適当な時期に情報広報部門の委員長会議を開催し、ロータリークラブの広報活動について共通の認識を持ち、具体策を検討したい。
2. クラブ内広報とクラブ外広報の両面からキメの細かい活動に努め、特に各クラブとはホームページ等を活用すると共にネットワークを構築し、クラブにとって参考になる情報の交流に努めたい。
3. クラブ外広報としてはマスコミ各社との交流をはかると共に各クラブのマスコミ関係会員の協力を得る事も考慮したい。

職業奉仕部門

職業奉仕委員会

委員長 岩本洋子 (大阪そねざき)
副委員長 村木茂 (新大阪)
委員 畑田耕一 (豊中)
同上 上田耕司 (大阪大手前)

近年、2660地区は組織と予算のスリム化に腐心してこられました。

これを受けて、職業奉仕委員会も今年度から少人数化・事業計画の集中化を図りたいと考えます。委員数を4人としました。事業としてロータリアンの「内なる職業奉仕=自己研鑽」と「他者への職業奉仕=ロータリアンによる出前授業の推進」を事業目標とし、各クラブに実践を呼びかけていきます。

(具体的事業)

1. 4月の地区協議会で、畑田耕一委員が、小学校へのお出前授業のモデルを各クラブの職業奉仕委員長さんの前で実践して頂きました。ロータリアンが自分の職業について小学生にわかるように、しかも各分野の基本原則を話し、彼らの未来モデルを提示するのです。
2. 8月に再度、各クラブの職業奉仕委員長さんにお集まり頂き、自己研鑽のための講演会を企画しています。
3. 昨年からは製作を始めた「職業奉仕のお話」の冊子を増頁します。

前年度と同じようなことをしているように思えますが、毎年、各クラブの職業奉仕委員長さんは変わります。「継続は力なり」です。ロータリーの次の100年のために、また、次世代の子供達のために、そして、次世代のロータリアンのために、自己研鑽と教育奉仕を提言していきたいと思っております。

以上

社会奉仕部門

社会奉仕委員会

委員長	江上清夫	(豊中千里)
副委員長	樋上幸夫	(摂津)
同	浦川光雄	(箕面中央)
委員	江藤光哉	(大阪)
同	由上時善	(吹田西)
同	表寛治	(池田くれは)
同	宮田明	(くずは)

社会奉仕に対するロータリアンのすべてが、個人生活、事業生活、および社会生活に奉仕の理想を適用することを奨励、育成することである、と社会奉仕に関する決議声明があります。

社会奉仕を通じて、地域と一体になり、よりこまやかな活動を進めてまいりたいと思っております。充実した社会奉仕活動を行うために各クラブのご理解とご協力をお願い致します。

<社会奉仕活動>

近年若年者の薬物乱用が問題視されており大阪府薬務課と協力し、ダメ・ゼッタイ運動を重要テーマとして取り組んでいく予定であります。

(イ) ダメ・ゼッタイ運動の展開

薬物乱用防止運動・特に麻薬覚醒剤など薬物使用の低年齢化

薬物依存は乱用者、乱用薬物、乱用を許す社会環境という「人・物・環境」の三要素で構成されている。

(ロ) 献血運動の充実

企業献血、クラブ献血の拡大

日本赤十字血液センターの現状について

(ハ) ユネスコ、寺子屋運動に協力

エリーニ・ユネスコ協会よりの協力依頼に基づき、「ユネスコ・世界寺子屋運動」

の協力を各クラブへ呼びかける。

書き損じハガキ 1円募金等

<環境保全活動>

日常生活と地球環境との関わりについて関心を高めることが大切であると考え、さまざまな運動に積極的に参画し、意識の高揚と活動の普及に努めてまいります。工場から、又自動車が引き起こす様々な公害を、国として、また企業として取り組み、地球をクリーンにしようという運動が世界全体規模で実施されております。

環境保全関係は、以上のような時代背景も踏まえて活動してまいります。

- 「豊かな環境づくり大阪府民会議」の重点行動目標に強調した運動の推進
- おおさか環境賞対象クラブの推薦
- 世界環境デー6月の環境月間の運動への参画
- なにわエコ会議に参画
- 環境保全セミナー開催

<交通安全活動>

交通戦争の中で私たち一人一人が自覚を持ち、交通法規の遵守につとめ交通災害を減らし、地域社会にどうすれば貢献できるか会員の皆さまと一緒に考えていきたいと思っております。

- 「春の全国交通安全運動」キャンペーンに参加
- 「ノーマイカーデー」コンテストの実施
- 交通問題対策協議会の設置

<社会奉仕関連活動>

社会奉仕活動は広域活動ともいわれていますが、災害に対し義援金依頼の協力、又現在大きな社会問題であります青少年に対する犯罪と教育の問題も、青少年委員会との共同活動として考え、又社会奉仕としても重要な問題として取り組んでまいります。

皆様方のご理解とご指導ご鞭撻によりまして、社会奉仕活動に努めてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

青少年奉仕部門

新世代合同委員長会議

議	長	井上 暎夫	(千里)
		泉 博朗	(大阪住吉)
		高橋 敏朗	(守口)
		田中 啓之	(大東)
		徳岡 昭七郎	(大阪天満橋)
		溝端 正信	(東大阪東)
		加藤 隆	(八尾)
		北川 哲	(大阪南)

本会議は当地区独自のものとして、近藤ガバナー年度に導入されました。

その趣旨は、ロータリーは過去及び現在も新世代の人々とその活動を通じ数多く係ってきておりますが、しかし、折角の係わりは活動の終わりによって途切れてしまいます。

この関係をいかに未来に向かって継続していけるかを模索し、実現させていくのかにあります。

一方、地区組織は各奉仕部門に分かれ、新世代に関係する委員会は4つの部門に所属しております。

縦割りの組織を横断し、各委員会がひとつの方向に向かって行く任務を帯びておりますが、組織作りだけでは機能致しません。

代々の議長の努力により、情報の交換や共有によってお互いに協力し合う体制作りが、漸くその機能を果たせることとなって参りました。

本年は当初の趣旨を実現する一つの方法として、OB、OGをキーメンバーとする新しいロータリー・クラブの誕生に向けて、より可能性のある手順などを審議いたします。

また、各委員会に繋がっているOB、OGの人々の集い、その前提として現役の人々を、例えば地区大会時に一堂に集まる会議の開催なども検討いたします。

先人の意思を若し本年度に形にできればこれに優る喜びはありません。

夢に向かって本会議メンバー一丸となって努力致すことを誓います。

青少年活動委員会

委員長	泉 博 朗	(大阪住吉)
副委員長	田 中 信 明	(大阪鶴見)
委 員	北 山 孝 和	(大阪中央)
	金 本 恒二郎	(大阪天王寺)
	門 田 雅 輝	(大阪東)
	宮 次 重 郎	(大阪本町)
	西 上 博 幸	(吹田江坂)
	水 崎 勝	(寝屋川)
	谷 間 庸 子	(大阪そねざき)
	杉 本 昌 煥	(大阪北梅田)
	土 井 靖 士	(大阪うつぼ)
	岸 上 宏 司	(池田)
	上 野 晃 裕	(大阪梅田東)
	岡 本 啓 吾	(大阪中之島)
	田 中 俊 男	(大阪城)

今年度は初級ライラ (RYLA) 2回、上級ライラ 1回、少年少女ニコニコキャンプを 1回、ライラ報告会 (ライラワークショップ) 1回、新世代月間事前研修会 (兼ニコニコキャンプ報告会) 1回、クラブ青少年活動正副委員長会議 2回を実施いたします。

1. ライラ (Rotary Youth Leadership Awards : 青少年指導者養成プログラム)

(1) 初級ライラ ホストクラブ : 大阪そねざき R C

(秋のライラ) 日時 : 2006年10月7日(土) ~ 9日(月)

場所 : 琵琶湖パレー

(2) 上級ライラ ホストクラブ : 大阪そねざき R C

プレキャンプ 日時 : 2006年9月23日(土)

場所 : 未定

本キャンプ 日時 : 2006年10月7日(土) ~ 9日(月)

場所 : 琵琶湖パレー

(3) 初級ライラ ホストクラブ : 大阪北梅田 R C

(春のライラ) 日時 : 2007年5月3日(木) ~ 5日(土)

場所 : 大阪府立青少年海洋センター

2. 少年少女ニコニコキャンプ

小学生4, 5, 6年を対象に2泊3日のキャンプを実施します。

児童たちがキャンプの共同生活を通じ、また自然にふれ、友情や心の豊かさを養い、団結と協力の大切さと奉仕の精神を体験しながら学んでもらうことを目的としています。

さらに、ホストクラブの提唱するローターアクトのメンバーがプログラムの企画、立案、実施を行い、直接児童のお世話をすることにより、リーダーとしての研修を積む実習の場としての役割も担っております。

少年少女ニコニコキャンプ

ホストクラブ : 寝屋川RC

日時 : 2006年8月4日(金)～6日(日)

場所 : 寝屋川市野外活動センター

3. 各クラブ青少年奉仕活動情報の収集と提供

2回実施されますクラブ青少年活動正副委員長会議におきまして、各クラブの青少年奉仕活動情報を事前にアンケートし、その結果を提供し、意見の交換をいたします。

また、新世代月間に向けて事前研修をおこないます。

ライラ、ニコニコキャンプの報告をいたします。

(1) 新世代月間事前研修とニコニコキャンプ報告

日時: 2006年8月24日(木)

場所: YMCA会館

(2) 第1回正副委員長会議と秋のライラ基調講演

日時: 2006年10月7日(土)

場所: 大阪成蹊大学

(3) 第2回正副委員長会議とライラ報告

日時: 2007年5月12日(土)

場所: 未定

4. ライラ修了生の組織化と国際ライラへの派遣

ライラ修了生に対しライラの企画、実施へ参加を促すことにより、さらなる青少年指導者の養成を目的とした組織づくりを行う、現在「チームライラ」として7名活躍いたしておりますが「ライラリアン」としての立場を確立する準備を行います。

チームライラのメンバーを研修として国際ライラに派遣いたします。

ローターアクト委員会

委員長	高橋敏朗	(守口)
副委員長	湯木尚治	(大阪)
副委員長	辻本一義	(東大阪)
委員	疋田陽造	(吹田)
同	井本恵章	(大阪北)
同	坂田哲男	(大阪御堂筋)
同	中北清	(大阪南)
同	津本清次	(大阪淀川)
同	吉岡崇	(池田)
同	山村安德	(東大阪東)
同	岩本和久	(大阪住吉)
同	中安敬人	(大阪西)
同	池田佳弘	(大阪梅田)

基本方針

本年度は、前年度の反省を踏まえて前もってコミュニケーションを大いにとって参りたいと思います、そしてこの1年皆様と共に頑張る参りたいと思います。また新世代を踏まえながら計画目標について考えて参ります。そしてガバナーからのテーマを受けましてローターアクトに繋がる活動方針を各ローターアクトクラブに考えてもらいます。またアクトの活動を原点から見つめ直し、全世界のローターアクトの模範となりますような、各クラブの基本的な活動を充実させることに繋がれば良いと考えます。

ローターアクトクラブの会員は、30歳になると卒業という規定があり、常に新しい会員の補充をしなくてはなりません、会員数もピーク時から比べるとロータリー同様減少傾向にあります。今年もローターアクトクラブ正副委員長会議に未提唱クラブの青少年活動委員長に参加して頂きローターアクトのことを少しでも理解して頂きローターアクトの会員増に繋がれば良いと思っています。そして各ローターアクトクラブに提唱ロータリークラブとの連携した共同奉仕活動を軸に、交流を図りローターアクトの活動を認識していただき、会員増強に組織だった協力体制を整備していかなければならないと思っています。そのためには、地区と各クラブとの連絡・協力関係を密にし、特にメンバーの少ないクラブの増強を計るアドバイスをを行いながら、個々のクラブ活動を支援して行きます。

そして、ローターアクトのOB、OGでのロータリークラブの創立を新世代委員長会議の中で考えて実行に移したいとも思っています。

以上

活動計画

1. 今年度はガバナーの強い気持ちの中でR I 会長賞受賞に向かったの活動計画を個々のクラブで取り上げて行くこと。
2. 活動の基盤は個々のクラブであるという認識を各クラブに徹底し、クラブ活動の活性を計る。
3. ローターアクトクラブの永遠の課題である会員増強を提唱ロータリークラブと共に計る。
特に、会員数が15名以下のクラブには積極的に会員増強をお願いする。
4. ロータリークラブとの共同奉仕活動を推進して、共同プロジェクトを組むことにより、ローターアクトの活動をロータリアンに理解を深めてもらう。
又、未提唱ロータリークラブにもPRを積極的に行い、ローターアクトの活動を理解してもらう。
5. ローターアクト必携、および2660地区ローターアクトガイドブックにより、ローターアクトの基礎知識の勉強する機会を多く作る。
6. ローターアクトのOB、OG会を充実して、現役ローターアクターとの交流を深め、適切なアドバイスをいただき、活動の参考にしていく。
そして、OB、OG会を通じてロータリークラブの結成準備をしたい。
7. 海外研修を通じ現地ローターアクターとの交流と共同奉仕活動を通じてローターアクトの国際感覚の養成を計る。
8. また青少年奉仕部門の委員会とも連絡を密にして、情報交換や相互協力を計りローターアクト委員会がリーダー的な役割を果たしていく。
9. インターアクト委員会とも協議しながらローターアクトへの入会を勧める。

以上

R.I

 ROTARACT DISTRICT 2660

**国際ロータリー第2660地区ローターアクト
 2006～2007年度 地区行事**

年	月	日	曜日	行事名	ホスト	備考
06	7	15	土	第1回RAC正副委員長会議	地区RA委員	
		23	日	第1回地区献血	東大阪東RAC	
		23	日	第1回地区連絡協議会	大阪中央RAC	
		29	土	第1回海外研修オリエンテーション	RA地区役員	
	8	4～6	金～日	少年少女ニコニコキャンプ	寝屋川RC	大阪府寝屋川 野外センター
		12	土	第2回海外研修オリエンテーション	RA地区役員	
		26	土	第3回海外研修オリエンテーション	RA地区役員	
		8/31～9/3	木～日	海外研修	RA地区役員	RI第3810地区 (リーダー地区) フィリピン タガイトシティ
	9	10	日	全国統一アクトの日	大阪御堂筋RAC	
	10	7～9	金～日	秋のライラ	大阪そねざきRC	琵琶湖パレー
			日	2640・2660地区交流会	2640地区RC	
	11		日	インターアクト年次大会		
	12	8～9	金～土	RC地区大会	大阪南RC	
	07	2	10	土	第2回正副委員長会議	地区RA委員
18			日	第2回地区献血	大阪RAC	
18			日	第2回地区連絡協議会	大阪西南RAC	
24～25			土～日	第19回全ローターアクト研修会	2610地区RA	
3		18	日	世界RAC DAY	大阪東RAC	
4		15	日	新旧理事役員研修会	枚方RAC	
5		3～5	木～土	春のライラ	大阪梅田RC	淡輪
		20	日	地区年次大会	池田RAC	
6	10	日	リーダーシップフォーラム・新人研修会	大阪-淀川RAC		

インターアクト委員会

委員長	田中啓之	(大東)
副委員長	大戸道彦	(大阪住吉)
委員	上野昌也	(大阪)
同	西川和伸	(大阪南西)
同	谷野清孝	(大阪阪南)
同	廣内謙	(大阪南)
同	吉本憲司	(八尾)

06～07年度国際ロータリークラブのテーマ“LEAD THE WAY”（率先しよう）を意識しながら、次の活動方針を推進します。

◎ 活動方針

1. 当地区のインターアクトクラブは、すべて学校を基盤としています。このため提唱各クラブが各学校の実状に沿い、学校長や顧問の先生方と連携・協調して、インターアクトクラブの活動を支援します。
2. 少子化、教育環境の変化等がインターアクトクラブの活動にも影響を及ぼしています。こうした状況のなかでクラブの活動が学校当局はもとより、多くのロータリアンの支持が得られるように努めます。また、インターアクトクラブの創設に取り組んでいただけるよう、情報の提供などの支援をします。
3. 活動計画（地区行事）の実施に際して、提唱ロータリークラブ・担当インターアクトクラブの意見を尊重し、個性あふれるものとなるよう支援します。

◎ 活動計画

1. 地区年次大会（主幹事校）

提 唱：大阪住吉ロータリークラブ

担 当：浪速中学高等学校インターアクトクラブ

期 日：2006年11月19日（日）予定

会 場：未定

2. 海外研修（副幹事校）

提 唱：大阪南ロータリークラブ

担 当：清風学園インターアクトクラブ

期 日：2006年8月3日（木）～7日（月）予定

研修先：タイ

3. 地区活動報告誌SCRUMNo.32の発行（副幹事校）

提 唱：大東ロータリークラブ

担 当：大阪桐蔭中学高等学校インターアクトクラブ

期 日：2007年3月予定

4. 地区新入生歓迎会（主幹事校）

提 唱：大阪住吉ロータリークラブ

担 当：浪速中学高等学校インターアクトクラブ

期 日：2007年6月3日（日）予定

会 場：未定

5. 新クラブの設立に向けて

地区内インターアクトが、諸般の事情により減少傾向にあることに鑑み、関係各位のお力添えをいただき、新クラブの設立をサポートします。

6. 会議等

ア. リーダーシップフォーラム	1回	7月予定
イ. 顧問会議	3回	3, 6, 9月予定
ウ. 地区委員会	3回	3, 6, 9月予定
エ. 正副委員長会議	2回	3, 9月予定
オ. 近隣地区合同委員会	随時	

以上

国際奉仕部門

国際奉仕委員会

委員長	盛田三五	(大阪東)
副委員長	島井宏子	(大阪北梅田)
委員	佐野吉彦	(大阪)
同	藤村達夫	(大阪東)
同	乗光孝明	(大阪住之江)

1. 昨年来検討してきた、新たな国際奉仕活動としてR Iの発信する情報をインターネットのWeb Site を活用して効率よく全てのロータリアンに伝達する活動の実行段階に入ってきたので、地区委員長会議で説明し、実施を推奨する。
2. 地区内の約30%のクラブが海外との提携クラブを持っていないので、提携に関する情報を提供し海外クラブとの交流、友好の促進を推奨する。
3. W C S、Y E P両委員会とは共同で地区委員長会議を開催し、3委員会の協力体制をより緊密化する。

世界社会奉仕委員会

委員長	植村 宏一郎	(大阪 平野)
副委員長	宮里 唯子	(茨木 西)
委員	芦邊 康徳	(大阪 心斎橋)
同	家村 武志	(吹田 西)
同	青山 快玄	(大阪 北梅田)
同	足立 善信	(吹田)
同	小林 澄子	(守口イブニング)
同	浅井 清彦	(大阪 大淀)
同	簡 仁一	(茨木)
同	戸田 和孝	(大阪 ちゃやまち)
同	新谷 秀一	(池田 くれは)

ロータリークラブと地区が協力し貧困飢餓で苦しむ人々に対し、生活水準を高める援助活動を他国のロータリークラブと共に奉仕活動を行い、両国間の国際理解と親善を深める。特に今年度のRI会長の強調事項「水保全・識字率向上、保健および飢餓」に対する奉仕活動を中心に86クラブすべてが独自のWCS活動を行なって頂けるよう地区委員会では下記の活動を計画します。

1. 世界社会奉仕活動の必要性和重要性を理解して頂き、すべてのクラブが独自の活動を行って頂く為の委員長会議を2006年7月と2007年3月に行う。
2. 財団補助金の活用について、財団法人道的補助金委員会より情報収集し、協力し合ってD.D.FやW.Fを有効的に活用して頂ける様全クラブに情報の提供を行う。
3. IM8組単位に各委員が担当し奉仕プロジェクトの進め方や支援先等、奉仕活動に対する方法等のアドバイスやお手伝いを行なう。
4. 独自の奉仕活動が理由があってできないクラブに地区との共同プロジェクトに参加して頂けるよう呼びかける。
5. 毎月第3水曜日(年12回)定例委員会を行う。
6. 今年度RI会長強調次項「水保全・識字率向上、保健飢餓」支援プロジェクトを下記の国に調査発掘支援を行う予定。

①モンゴル ②カンボジア ③インドネシア ④タイ ⑤ベトナム

青少年交換委員会

委員長	徳岡昭七郎	(大阪天満橋)
副委員長	植田豊實	(箕面中央)
委員	土井晶三	(高槻西)
同	岡田俊作	(大阪本町)
同	武市智寿	(大阪鶴見)
同	三木優	(大阪イブニング)
同	西野博子	(大阪イブニング)
同	葛尾都志樹	(大阪ちゃやまち)
同	木村忠夫	(大阪天満橋)

ROTARYの青少年交換プログラムは、一番感受性豊かな高校生を主な対象としたプログラムであります。80数年もの間行われてきた当プログラムは、派遣生と来日生が一年間の留学生生活を無事に終え、健康に、かつ成長して帰って来られるよう、事前から様々な準備を行います。今年度からは派遣学生、来日学生のフォローはもちろんのこと、英語圏だけではなく、世界の将来を見据え、ヨーロッパ諸国との交換にも力を入れていきたいと考えております。未来の世界を担う若者が、立派な国際人感覚を持ち合わせた大人に成長する手助けをできればと思います。

このような目標を掲げ、委員会10名が協力しあって、プログラムの更なる発展を目指したいと思っております。各スポンサー・ホストクラブの皆様方のご協力とご理解、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

<基本方針、条件>

- ①受入12名、派遣学生を11名とする。
- ②受入ロータリークラブへの補助金は60万円以上を目標とする。
- ③受入学生、年2回の宿泊旅行(スキー、広島)の代金として実費相当\$800を持参してもらう。(\$300は緊急資金、\$500は旅行費用負担)
- ④派遣学生からは、プログラム参加費として1人当たり10万円を徴収する。
- ⑤基本的に、行事参加のロータリアン、ROTEXからは応分の負担をお願いする。

ロータリー財団部門

ロータリー財団委員会

委員長 佐藤 俊一 (大阪 鶴見)

委員 井川 孝三 (八尾)

同 福家 宏 (八尾 中央)

同 溝畑 正信 (東大阪 東)

同 加藤 隆 (八尾)

ロータリー財団の使命は、「地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援すること」と謳われています。

その使命のためには奉仕活動の充実と資金面の援助が重要であり、奉仕活動と資金調達車の両輪となっています。

この目的のため、地区には8つの小委員会を設けるよう推奨されています。

1. 年次寄付 2. 恒久基金 3. 奨学金 4. 学友 5. 世界平和フェロシップ 6. 研究グループ交換(GSE) 7. 補助金 8. ポリオプラス

当地区ではすべての委員会を設置するのは現実的ではないので、1と2を情報増進委員会が、3, 4, 5を奨学金学友委員会が、6および学友の一部を研究グループ交換委員会が、7, 8を人道的補助金委員会が担当します。

そして財団4委員会委員長で財団委員会が構成されています。

地区ガバナーは職権上の委員として、地区内ロータリアンに対して上記の財団プログラムと募金に参加するよう奨励しますが、それを援助することが当財団委員会の目的です。地区財団委員会はロータリー財団とロータリアンの連絡役をつとめます。

また、地区ガバナーとガバナーエレクトと協議してDDFのシェアの用途を決定します。

(シェア会議)

近年、地区内の会員の減少、一人当たりの寄付金の減少、そのうえRIより地区に戻る資金(DDF)が60%より50%に減額されるため、地区での財団活動資金が大幅に減少しており、たとえば、国際親善奨学生派遣数が最盛期に比べ三分の一まで落ち込んでいる現状にあります。

このように財政的に逼迫した状況を理解していただき、積極的に協力していただけるような財団活動を今後とも展開していきたいと考えています。

財団情報・増進委員会

委員長 井川 孝三 (八尾)
副委員長 北村 讓 (大阪中之島)
委員 津和 章雄 (大阪城南)
同 吉岡 康雄 (大阪西北)
同 松本 秀作 (大阪北)

財団の4委員会と連携を密にしながら、地区各クラブの財団委員会を通じてロータリー財団情報を提供し、財団活動に対する理解と浸透に努力する。

又、寄付の増進については、各クラブが設定している目標額を達成すべきため、より一層の増進を図りたい。

◎計画

- ・情報・増進委員会の開催 (年3回)
- ・地区ロータリー財団セミナー (8月開催、各クラブ会長、財団委員長の出席)
- ・ロータリー財団委員長会議の開催 (10月)
- ・ロータリー財団月間、I.M.(8ブロック)にての情報提供の機会を活用する。

◎地区募金目標

- | | |
|----------|------------------|
| ・年次寄付目標額 | 各クラブの目標額を集約した額 |
| ・年次寄付 | 一人当たり 各クラブにて設定する |
| ・ベネファクター | 各クラブ 1名以上 |
| ・大口寄付 | 1名 |

寄付は今日の財団プログラムを支えている年次寄付と明日の財団プログラムを安定させるものとしての恒久基金の2つに大別される。恒久基金の充実を図るため、ベネファクター・大口寄付の推進が重要な年となっている。

委員会開催予定日

- 8月3日(木) 15:00～ (ガバナー事務所) 第1回財団情報・増進委員会
財団セミナーのための打ち合わせ
- 9月28日(木) 15:00～ (ガバナー事務所) 第2回財団情報・増進委員会
財団委員長会議のための打ち合わせ
- 2月8日(木) 15:00～ (ガバナー事務所) 第3回財団情報・増進委員会

地区財団セミナー

8月19日（土）開催予定

クラブロータリー財団委員長会議

10月21日（土）開催予定

ロータリー財団月間

- ・ロータリー財団活動の理解を深めてもらう。
- ・年次寄付の重要性を強調し各クラブが設定する目標額のアップにつながる情報を提供する。

会員委懇談・贈答関係

このセミナーは、各クラブの活動の理解を深めてもらうこと、年次寄付の重要性を強調し、各クラブが設定する目標額のアップにつながる情報を提供する。また、贈答関係の重要性についても説明する。

贈答関係

（贈答関係）贈答の会員委懇談・贈答

贈答の会員委懇談・贈答の重要性について説明する。

（贈答関係）贈答の会員委懇談・贈答

贈答の会員委懇談・贈答の重要性について説明する。

贈答関係

贈答の重要性について説明する。贈答の重要性は、贈答の金額が大きいほど、贈答の効果が大きい。また、贈答の金額が小さいほど、贈答の効果が小さい。贈答の金額は、贈答の回数と贈答の金額の積で決まる。

贈答の重要性について説明する。贈答の重要性は、贈答の金額が大きいほど、贈答の効果が大きい。また、贈答の金額が小さいほど、贈答の効果が小さい。贈答の金額は、贈答の回数と贈答の金額の積で決まる。

贈答関係

贈答の重要性について説明する。贈答の重要性は、贈答の金額が大きいほど、贈答の効果が大きい。また、贈答の金額が小さいほど、贈答の効果が小さい。贈答の金額は、贈答の回数と贈答の金額の積で決まる。

財団奨学金・学友委員会

委員長	溝畑正信	(東大阪東)
副委員長	梅崎道夫	(大阪城南)
委員	丹羽一郎	(大阪東)
同	柏本義臣	(吹田西)
同	河野眞一郎	(大阪北)
同	山下勝弘	(東大阪)
同	高田利美	(大阪フレンド)

1. ロータリー財団国際親善奨学生の選考とオリエンテーション

* 2008～09年度ロータリー財団国際親善奨学生の募集及び選抜試験

地区財団寄付金の減少、また地区財団活動資金(DDF)が50%となったため、選ばれる奨学生数の減少が著しい。

このようななかで、いかに優秀で質の高い、ロータリー財団国際親善奨学生として相応しい候補を選ぶかがこの委員会の重要な役割と考え、取り組んでいきたい。

* 本年選抜された2007～08年度奨学生に対しては、3回にわたるオリエンテーションを開催し、顧問ロータリアンと共に国際親善大使としての役割とロータリー財団の意義について認識していただく。

また、先輩である財団学友と共にあらゆる機会をとらえて、ロータリー財団国際親善奨学生の自覚を持ってもらう。

帰国後はPSC(財団学友)会員として、ロータリーによる留学によって得られたところのものを社会に還元してもらうよう指導する。

2. ロータリー世界平和フェローの募集、選出

2005～07年度の第4期ロータリー世界平和フェローに当2660地区から寺西悦子さんが選ばれ、現在オーストラリア・クイーンズランド大学大学院政治国際問題研究科・平和紛争解決専攻で勉学中である。2008～10年度も優秀な人を推薦し合格させたい。

3. ロータリー平和および紛争解決研究フェローの募集、選出

ロータリー財団は教育的プログラムの一環として、タイ、バンコク、チュラロンコーン大学で3か月間、紛争解決について学ぶプログラムを2006年7月1日より新設した。

本年度より取り組みたい。

4. 国際親善奨学生の受け入れ

文化研修を目的とする国際親善奨学生や1学年度あるいはマルチ・イヤー国際親善奨学生が来日すれば、世話クラブと受け入れ学校と協力して所期の目的を達成したい。

5. PSC(財団学友)の発展と充実を計るため以下の活動を行う。

* 奨学生候補と先輩であるPSC会員との交流の機会を多く作り、留学に際しての情報交換の

場とする。

また、メーリングリストを通じてより具体的なノウハウを提供する。PSC作成の留学マニュアルを配布する。

* 地区ホームページにアップするPSCだよりの編集、ロータリー財団学友名簿作成などでPSCの活動を知ってもらう。

* ロータリー財団月間や世界理解月間にはPSC会員の卓話を奨励し、各クラブにもそれをPRする。

* PSC会員の就職先や住所が当地区とは限らない。どの地区にあっても活躍できるよう他地区の学友組織との連携を計りたい。

* 新世代による新しいロータリークラブの創設にむけ尽力したい。

6. 地区協議会、地区大会、ロータリー財団セミナー、クラブロータリー財団委員長会議、クラブ卓話などを通じ、当委員会の活動を広く会員に理解していただき、ひいては財団活動に協力していただくよう啓蒙につとめる。

国際ロータリー第2660地区2006～07年度

財団奨学金・学友委員会行事予定表

2006年

7月8日(土)	13:00～16:45	合同地区委員会
	18:00～	第1回財団奨学金・学友委員会
8月6日(日)		ロータリー財団地域セミナー(パシフィコ横浜)
8月19日(土)	13:30～16:30	地区財団セミナー
9月2日(土)	11:00～12:00	第2回財団奨学金・学友委員会
	13:30～16:30	第1回国際親善奨学生オリエンテーション
		PSC総会
	17:00～19:00	PSC主催奨学生歓迎会
10月21日(土)	13:00～16:30	クラブロータリー財団委員長会議
12月8日(金)～12月9日(土)		地区大会
12月9日(土)	地区大会終了後	第3回財団奨学金・学友委員会
		PSC例会
		PSC主催帰国奨学生報告会

2007年

2月22日(木)	15:00～17:00	ロータリー財団委員会(シェア会議)
3月3日(土)	11:00～12:00	第4回財団奨学金・学友委員会
	13:30～16:30	第2回国際親善奨学生オリエンテーション
		PSC例会
	17:00～19:00	PSC主催懇親会

4月14日(土)

地区協議会

4月15日(日) 午後

2008～09年度奨学生第1次試験(小論文)

第5回財団奨学金・学友委員会

5月15日(火) 17:00～19:00

国際親善奨学生第1次選考会

6月3日(日) 9:00～17:00

2008～09年度奨学生第2次試験(面接)

6月17日～20日

国際大会(アメリカ・ユタ州ソルトレイクシティ)

6月30日(土) 11:00～12:00

第6回財団奨学金・学友委員会

13:30～16:30

第3回国際親善奨学生オリエンテーション

PSC例会

17:00～19:00

PSC主催奨学生歓送会

研究グループ交換委員会

委員長	加藤	隆	(八尾)
副委員長	田中	潤治	(大阪西北)
同	野村	正勝	(箕面中央)
委員	吉崎	広江	(東大阪東)
同	吉川	邦英	(大阪)
同	武田	太郎	(大阪南)
同	松井	隆雄	(大阪天王寺)
同	新谷	秀一	(池田くれは)

(1) 交換組合せ

国際ロータリー第2430地区 (トルコ アンカラ地区)

(2) 期間 (4週間)

①受入

2007年3月23日 (金) 関西国際空港到着

2007年4月20日 (金) 関西国際空港発

②派遣

2007年5月7日 (月) トルコ着

2007年6月4日 (月) トルコ発

(3) 活動計画の基本

①派遣チームは、実業に従事する25—40才の団員4名にロータリアンである団長の5名で構成する。

団員、団長は地区内に公募し、特に団員は委員会全員で面接 (ガバナー、ガバナーエレクトを含む) を行い、決定する。面接は英語で原則行い、英会話力、職業研修の目的意識、国際親善大使としての理解と自覚をポイントして行う。

公募は7月初めに全クラブに行い (地域への公募はクラブに任せる)、8月中旬に募集しめきり、9月初めに面接、選考を行う。

②交換相手GSEチームの受入は、IMの組分け (1/2、3/4、5/6、7/8組のペアリング) にしたがって夫々1週間を担当してもらい、出来る限り多くのRCの参画で国際友好親善プログラムを体感してもらい財団活動に対する理解と協力を推進する。

具体的には週毎の受入実行委員会システムを組織し、各週のホームステイ受入家庭の決定、職業研修、一般研修、例会への招待等のプログラムを策定してもらい、全体受入実行委員会でプログラムの重複を調整し、最終プログラムを作成、実際の受入にあ

たっては毎日のプログラムのスムーズな進行を確認してもらう。

地区委員は夫々のIM組のサポートを行いプログラムの計画、実施がスムーズにいくように補佐する。

プログラムは 国際交流に基づく一般研修の他、職業研修（団員の職業に関する研修プログラム）、ロータリアンとの交流プログラム（例会への招待とプレゼンテーション）を中心とします。

滞在は国際親善友好プログラムなので、ロータリアンの家庭でのホームステイをベースとする。 団員一人 1週間 1家庭でのホームステイとします。（つまりチーム5人、各週5家庭、4週間で20家庭のホームステイ受け入れが必要）

全てのプログラムを通じて国際親善・友好、財団プログラムの楽しさを体感頂き財団への理解と更なる協力を促進することを第1義とする。

(4) 主な日程

①派遣

7—8月中に地区内に団員、団長募集

9月初めに団員選考

12月 派遣チーム第1回オリエンテーション（以後委員会、GSE アルムニ会でオリエンテーション、情報提供を行う）

4月中旬 派遣チーム壮行会

5月派遣（5月7日トルコ着）

6月帰国（6月3日2430地区地区大会出席、6月4日トルコ発）

6月中旬から下旬 帰国歓迎・報告会

②受入

11月末—12月初め 受入実行委員会開催（以後4回程度開催）

2月中旬 受入プログラムを決定し、トルコに連絡すると共に、受入スケジュールの英文、日本語のパンフレットを作成する（3月初めには地区全クラブに配布する）

3月初旬 受け入れホスト家庭へのオリエンテーション

3月末 トルコGSEチーム来日（3月23日（金）関空出迎え、24日（土）GSEアルムニ会主催歓迎会、25日（日）地区公式歓迎会）

4月末 トルコチーム帰国（4月19日（木）地区公式歓送会、20日（金）関空発）

(5) GSEアルムニ会

①目的 GSE元団長、団員（PSC）の互惠と親睦を目的とし、地区GSE委員会の活動に協力する。

②活動

地区GSE活動に協力する。

派遣チームに対しては、経験に基づく情報提供、助言を行い、地区主催の歓送迎会に参加する。

受入にあたっては、受入チームの時差解消日のアテンドと、大阪市内観光や交通機関の利用の仕方を教え、アルムニ単独開催の歓迎会で 来日チームに心のゆとりを与える。

地区主催の歓送迎会にも参加し、職業研修や一般研修にも必要に応じて協力する。

PSC、RAC、YEとの交流を自主的に推進させる。

地区GSE受入に際しては 積極的に情報を流し、協力や歓送迎会への参加を要請する。

財団法人道的補助金委員会

委員長 福 家 宏 (八尾中央)
副委員長 横 井 憲 二 (八尾)
委員 岩 津 陽 介 (大阪御堂筋)
同 辻 川 功 一 (大阪中央)
同 寺 本 美 津 子 (大阪そねざき)
同 山 本 雅 昭 (大阪北)

活動計画

◎多くのクラブに補助金の利用方法を周知いただき、補助金の利用率が高まるよう努力する。

- ・財団地域セミナーハンドブックの存在を全会員に認識していただく
- ・補助金利用プロジェクト実施に当たっては必ずこのハンドブックを読んでいただく
- ・ウェブサイトの活用を呼びかける

1. 2005～06年度、2660地区に配分されたDDFの内、人道的分野で利用できる金額は\$115,000で、内訳は下記の通りである。地区財団セミナー、地区財団委員長会議、地区世界社会奉仕委員長会議などを通してまた地区のウェブサイトも紹介して、多くのクラブの人道的活動に有効かつ公平に役立つよう広報し支援する。

地区補助金 (DSG)	\$55,000
マッチング・グラント (MG) へのDDF	\$60,000
合 計	\$115,000

2. 人道的分野の補助金は、地区補助金、マッチング・グラント、ボランティア奉仕活動補助金 (個人向け補助金が改名された)、3H補助金の4つ。(3H補助金：保健、飢餓追放および人間性尊重のための補助金)

(1) 地区補助金 (District Simplified Grant) DSG 財源はDDF

主として国内の地域社会への奉仕活動 = 社会奉仕 に対する補助金。一方ロータリークラブが存在しない国への支援にも利用できる。ただし米国資産管理局制裁下にある国 (ミャンマー、北朝鮮) には使えない。クラブは補助金を使用するに相応しいプロジェクトを立案して所定の地区補助金申請書を地区に提出し、地区の審査を経たうえ補助金の授与を受ける。クラブはプロジェクト終了後2ヶ月以内に所定の最終報告書を領収証コピー、プロジェクトの写真とともに提出することが義務付けられている。

今年度は1件あたりの補助金をクラブの資金のうち補助金の授与可能な部分に対して同額を補助し、1クラブあたりの上限を\$2,000とする。(ただしプロジェクトの内容によっては柔軟に対応する)

(2) マッチング・グラント (Matching Grant) MG 財源はWF (DDFを付加できる)

援助を必要とする外国の地域社会への奉仕活動 = 世界社会奉仕 (World Community Service : WCS) を行う時に利用できる補助金。(DDFを使用すると補助金は大きくなる)

MGを利用するには被援助国にロータリークラブが存在していなければならない

・授与することのできるマッチング・グラントは\$5,000~\$25,000 (通常はこの範囲で申請)

・大口マッチング・グラントは\$25,001~\$150,000だが競争制

クラブは補助金を使用するに相応しいプロジェクトを立案してDDF使用願いとマッチング・グラント申請書のコピーを当委員会に提出。当委員会と地区WCS委員会の審査を経てRI日本事務局財団室に提出してロータリー財団の承認を得た上、補助金の授与を受ける。

今年度は1件あたりのDDFの上限を\$5,000とする。 (ただしプロジェクトの内容によっては柔軟に対応する)

(3) ボランティア奉仕活動補助金 (個人向け補助金が改名された) 財源はWF

2005-06年度は一時停止されていた。2006-07年度から復活したが名称と内容が変更された。

・WCSプロジェクトの計画を援助するために海外に赴くロータリアンの旅費

・個人に対して一律\$3,000 最高5名までのチームには一律\$6,000が支給される

・最低滞在日数はプロジェクト実施地において10日間

・申請書は出発に先立つ3ヶ月前までに受理されねばならず、出発に先立つ2ヵ月前までに承認されていなければならない

・旅行の手配は出発の45日前までに国際ロータリー・トラベルサービスを通じなければならない

・新しくなった申請書・手続き方法などは2006年6月第1週目にダウンロード用にウェブサイトに掲載される? (6月15日時点で未掲載)

(4) 3-H補助金 (保健、飢餓追放および人間性尊重補助金) 財源はWF

(Health, Hunger and Humanity Grants) 3-HG

単独のクラブまたは地区が独力で実施するには大きすぎるような、長期的、自主自助、地域みずから参加するようなプロジェクト。金額が大きく、制約も多い。

(利用を考慮されるクラブには前もって人道的補助金委員会に相談いただく)

3. 委員会開催予定日

7月27日、9月14日、11月9日、1月18日、3月8日、5月10日

【7月27日 (木) 1月18日 (木) はWCSと合同】

4. 地区補助金審査委員会開催予定日

7月27日、9月14日、11月9日、1月18日、3月8日、5月10日

米山奨学部門

米山奨学委員会

委員長	北川 哲	(大阪南)
副委員長	岡田 義昭	(大阪淀川)
委員	池田 文治	(大東中央)
同	奥谷 英夫	(千里)
同	磯田 郁子	(大阪東淀)
同	青木 達也	(大阪西南)
同	北川 忠嗣	(東大阪東)
同	村橋 義晃	(大阪中之島)
同	笠原 隆之介	(茨木)
同	野村 泰弘	(大阪西)

○活動方針

- ①奨学寄附金の確保充実を計る。
- ②奨学生の選考。
- ③奨学生に対する充実した指導や助言を行い、奨学生と世話クラブ及びカウンセラー、そして留学生該当大学との円滑なコミュニケーションをはかれるよう協力調整する。
- ④学友（関西）との連絡及び連携の充実にあたる。

○活動計画

I 募金目標

・一人当たり 2万円（普通寄付と特別寄付の合計額）

- ①普通寄付 一人当たり5千円以上お願いします。
- ②特別寄付 クラブ会員の全員が米山功労者になる様協力要請する。

II 2007学年度米山奨学生選考試験

- ①ロータリアンが望む優秀な奨学生の採用をする為に面接に重点を置き、更には、公平公正な採用基準を確立し定着化させる。
- ②申込期間 2006年10月1日から10月15日（予定）
- ③書類選考 2006年11月 地区委員に依る資格審査と申込書チェック

- ④書類選考会議 2006年12月
- ⑤面接試験 2007年1月
- ⑥最終選考会議 2007年2月

Ⅲ ①年1回開催するカウンセラー研修会を定着させる。

- ②地区委員と大学との情報交換会の開催
- ③「米山の現況と地区活動」についてのPR。
- ④地区米山奨学委員研修会の実施

Ⅳ ①米山奨学生終了者のネットワーク作りがほぼ完成したので、各クラブにその有効利用を報告していただく。

Ⅴ 2006年度米山奨学生（2006年4月～2007年3月）

継続受給者	4名
新規奨学生	35名
クラブ米山奨学生	0名
計	39名

2006～2007年度地区米山奨学委員会年間行事予定表

日時	行事	場所	内容と参加者
7月21日（金） 午後2時～4時	大学担当事務官との協議会	大阪薬業年金会館	大学内の選考方法や希望を聞き、奨学会の方針を説明地区委員会のみ
8月25日（金） 午後2時～4時	米山奨学委員長— カウンセラー研修会	大阪薬業年金会館	奨学生との接し方および従来の問題点の討議 米山奨学委員またはカウンセラー出席
10月	米山月間	各クラブ	奨学生の卓話（30分）
10月15日（日） 午前10時～午後4時	宝塚歌劇の観劇	宝塚劇場（予定）	カウンセラー同伴
1月14日 午前9時30分～午後4時	面接試験	大阪YMCA	G, PG, GE, GN 地区委員（全員）
1月26日（金） 午後1時	次年度奨学生の合否 最終決定	ガバナー事務所	ガバナーと地区選考委員
2月4日（日） 午前11時30分～午後3時	歓送会	厚生年金会館or ヴィアール大阪	終了証書と記念品授与 大学指導教官 カウンセラー同伴
5月	オリエンテーション	未定	新規奨学生の心得指導 カウンセラー同伴

地区大会

委員長 平岡英信 (大阪南)

幹事 鈴木慶一 (大阪南)

プログラム委員長 武田太郎 (大阪南)

【日程・開催場所及び内容】

第1日目 2006年12月8日(金)

* 於 : 大阪国際会議場 12階『特別会議場』

内容: 会長・幹事懇談会

* 於 : リーガロイヤルホテル『光琳の間』

内容: RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

第2日目 2006年12月9日(土)

* 於 : 大阪国際会議場 5階『メインホール』

内容: 本会議

【登録について】

当日の参加者の登録とする。

参加者登録は一人7,000円、地区資金は在籍会員数一人5,000円

ロータリーの友

地区委員 木村 芳樹 (大 阪 南)

ロータリーの友委員会主催の合同会議への参加

合同会議（委員長・副委員長・特別顧問・顧問・常任委員・地区委員）に出席します。予定者段階では5月8日に新旧ロータリーの友地区委員合同会議があり、引き継ぎがおこなわれました。年度内では7月1日に上記メンバーに今年度ガバナー、新旧R I理事、エレクトも出席する合同会議が開催されます。後、11月、3月、5月の第2月曜日の計4回開催されます。

ガバナーおよび地区内の会員との意志疎通を図る

ガバナーおよび雑誌委員長・委員、各委員会、そして地区内会員から広く意見を求め、合同会議その他で発表します。また『ロータリーの友』に関するすべての情報をガバナーに文書または口頭で報告します。

地区における役割

『ロータリーの友』誌およびその出版物や事業への理解を深め広く機会を求めて、地区内の会員への広報、並びに利用促進活動につとめます。その主たる目標は、

- ①地区大会、地区協議会など地区内各会合に参加し、関連委員との連絡を密にし、地区の状況を「ロータリーの友」にレポートします。
- ②ガバナー月信、地区ホームページを通じて『ロータリーの友』に関する情報を提供します。
- ③地区、またはクラブのロータリー情報委員会、情報・広報委員会、雑誌委員会、会報委員会など関連委員会と連絡を密にし、ニュース源や協力者を確保します。

刊行物の編集に参画

「地区のたより」 地区内ロータリー活動における奉仕の考え方や事例、会員相互の親睦と融和に関するスペースを提供して、他地区の会員に情報を提供するという『ロータリーの友』発行の趣旨に基づき、年一回編集を担当します。2660地区では、2006年11月号に掲載の予定です。地区での奉仕活動の理論や具体例についてガバナーと相談の上「地区の便り」に出稿します。

財務委員会

委員長 湯 浅 光 章 (大 阪 南)
委員 松 尾 雅 明 (大 阪 西)
同 北 野 紀 之 (池 田)
会 計 飯 井 克 典 (大 阪 南)

(予算編成方針)

地区予算の緊縮化を図ろうとされたここ数年の財務委員会の努力を踏襲し、さらなる支出の削減を目標にしました。ガバナーの「2006-2007年度2660地区運営・活動方針」についてご報告のとおり、各クラブが主体であることを認識しての、地区活動の効率化と予算の削減を基本にいたします。活動規模については効率化を求めながら継続性を保ち、各クラブの負担を増加させないことを前提とするため、先人の築いてこられた財源を有効に利用させていただくことを諮問委員会の委員の皆様ともご相談の上、赤字予算で臨むことにいたしました。その結果、前期より引き継いだ地区運営資金・地区活動資金の繰越金を本年度より5年をめぐりに使用させていただくことにいたしました。さらに、本年度においても地区会員の減少が予想されることから、前年度比100名減の4,000名の会員数を基に収入を想定しましたが、各委員会のご理解とご協力により支出の削減に努めていただいたこと、および前述の諮問委員会のご認可を条件に、繰越金を5年程度にわたり利用させていただくことにより、1人当りの負担金は前年度と同額の22,000円で予算を編成することができました。

各会計の内容は以下の通りです。

○地区運営資金

地区運営費の削減は過去からの先輩方のご努力により十分に進んでいることから、前年の規模を再度見直し予備費等、従来よりの予算精度を上げることを目指したうえで、1百万円の繰越金の使用をお許しいただき、結果1人当りの負担金は9,500円を守ることが出来ました。

○地区活動資金

各委員会に対し、前年度予算のなかの予備費の削減および正確な予算策定を要請し、検討していただきました。特に青少年交換委員会での予算削減努力、青少年活動委員会・ローター・アクト委員会等の地区活動の実質地区予算計上を実施し又、RI規定審議会派遣費用を積み立てる等の予算増加とともにIM広報活動を推奨するため本年度も各IMへの補助金を継続して計上しました。正確な予算策定の結果、予備費は出来る限り地区財務委員会で一括計上し、

より弾力的な運用を図っていく事とさせて頂きました。会員数の増加が見込めない昨今の状況を踏まえ、又前年までの各委員会の削減努力の結果である繰越金より約4百万円の使用のお許しを得、1人当りの負担金は前年と同額の7,500円とする事が出来ました。

○地区大会資金

地区大会資金を特別会計とし、前年度の繰越金は地区大会への支出に充当しますが、運営努力で繰越金については出来る限り次年度へ繰り越すべく、また1人当りの負担金は5,000円に据え置いております。

○地区基金

前年度繰越金について特別の用途は予定しておりませんが、地区基金により一層の財務の健全化を図るため、一定の条件の範囲内で諮問委員会での検討と承認を前提にのみ、ガバナーの責任による出金を可能にすることとし、当基金は前年度繰越金20百万円で固定することを検討しています。

○地区広報活動基金

前年度繰越金について、これを全て活動基金に組み入れ全体の広報活動として運用していく所存であります。

(活動方針)

- (1) 各クラブ主体による地区活動の効率化と予算削減
- (2) 基金勘定・特別会計の整理統合による予算の明瞭性の確保
- (3) 予算の精緻化による予備費の一元管理と機動的対応

以上の3点により地区会計の健全性に努めてまいります。

2005～2006年度 国際ロータリー第2660地区
地区資金・特別会計・地区基金会計予算

自 2006年 7月 1日
至 2007年 6月 30日

地区運営資金

【収入の部】		(単位:円)
科 目	金 額	
1. 地区資金 9,500円×4,000名	38,000,000	
2. RI助成金	2,000,000	
3. 雑収入	2,800,000	
収入合計	42,800,000	

【支出の部】		金 額
科 目		
A. 負担金		
1. ガバナー会 200円×4,000人		800,000
2. ロータリー文庫 300円×4,000人		1,200,000
3. 平和奨学生支援協力金 15円×4,000人		60,000
小 計		2,060,000
B. 会議費		
1. 地区チームLTS		70,000
2. 会長エレクトTS		800,000
3. 地区合同委員会		1,000,000
4. 財団セミナー		450,000
5. DPGGE会議		1,000,000
6. G補佐・地区幹事会		50,000
7. GE国際協議会		730,000
8. 予備費		100,000
小 計		4,200,000
C. ガバナー事務所費		31,480,000
D. ガバナー月信費		5,500,000
E. ガバナー補佐経費		300,000
F. 直前DG記念品		100,000
G. 総予備費		160,000
支出合計		43,800,000
年度収支差額		-1,000,000
前期繰越金		5,753,469
次期繰越金		4,753,469

ガバナー事務所経費

【収入の部】		(単位:円)
科 目	金 額	
1. 家賃・光熱費	4,500,000	
2. 給料・手当	19,000,000	
3. 福利費	2,000,000	
4. コンピューター関係費用	300,000	
5. DGGE交通会合費	600,000	
6. 印刷費	1,400,000	
7. 通信費	1,500,000	
8. 文献費	100,000	
9. 事務用品費	800,000	
10. 什器備品費	200,000	
11. 雑費	1,000,000	
12. 予備費	80,000	
合 計	31,480,000	

地区活動資金

【収入の部】		(単位:円)
科 目	金 額	
1. 地区資金 7,500円×4,000名	30,000,000	
2. 地区広報基金振り戻し	2,718,362	
収入合計	32,718,362	

【支出の部】		金 額
科 目		
A. 地区委員会活動費		
1. DG指名(委)		50,000
2. 意義ある業績賞(委)		30,000
3. クラブ奉仕部門		
クラブ奉仕(委)		400,000
拡大・増強(委)		
情報・広報(委)		50,000
4. 職業奉仕部門		
職業奉仕(委)		100,000
5. 社会奉仕部門		
社会奉仕(委)		700,000
6. 青少年奉仕部門		
新世代合同委員長会議		10,000
青少年活動(委)		8,000,000
ローターアクト(委)		5,420,000
インターアクト(委)		2,280,000
7. 国際奉仕部門		
国際奉仕(委)		100,000
世界社会奉仕(委)		413,000
青少年交換(委)		8,215,000
8. ロータリー財団部門		
ロータリー財団(委)		100,000
財団情報・増進(委)		50,000
財団奨学金・学友(委)		1,200,000
研究グループ交換(委)		2,000,000
財団人道的補助金(委)		100,000
9. 米山奨学部門		
米山奨学(委)		430,000
10. RI規定審議会派遣積立金		850,000
11. 予備費		3,300,000
小 計		33,798,000
B. RI会長DG強調事業費		500,000
C. I.M.広報活動補助金		2,400,000
支出合計		36,698,000
年度収支差額		-3,979,638
前期繰越金		21,780,892
次期繰越金		17,801,254

特別会計

1. 地区大会資金		(単位:円)
科 目	金 額	
前期繰越金		0
地区資金 5,000円×4,000名		20,000,000
地区大会会計へ		20,000,000
次期繰越金		0

2. 米山奨学生生活動費		(単位:円)
科 目	金 額	
委員会:米山奨学委員会 委員長:北川 哲		
(財)米山記念奨学会より		2,700,000
米山活動費		2,700,000
次期繰越金		0

3. 世界社会奉仕基金		(単位:円)
科 目	金 額	
委員会:世界社会奉仕委員会 委員長:植村 宏一郎		
前期繰越金		3,223,404
次期繰越金		3,223,404

4. RI規定審議会派遣積立金 [新設]		(単位:円)
科 目	金 額	
前期繰越金		200,000
地区活動資金繰り入れ		850,000
実際派遣事業		1,050,000
次期繰越金		0

地区基金

地区基金		(単位:円)
科 目	金 額	
前期繰越金		20,000,044
次期繰越金		20,000,044

地区広報基金

地区広報基金		(単位:円)
科 目	金 額	
前期繰越金		2,718,362
地区活動資金繰り入れ		2,718,362
次期繰越金		0

当広報基金は、本会計(地区活動資金)に組み入れること致しました。

作成日 2006年 4月 20日

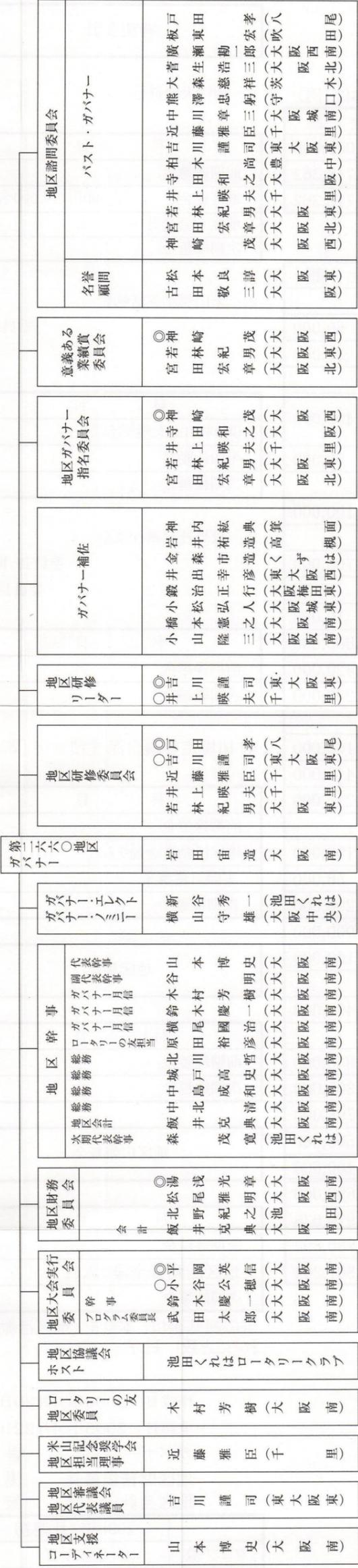
承認日 2006年 4月 22日

ガバナー 岩田 宙造
地区財務委員長 湯浅 光章
地区会計 飯井 克典

	2005年7月期初	2005年12月末
クラブ数	86クラブ	86クラブ
会員数	4,147名	4,177名

2006年～2007年度 国際ロータリー第2660地区 組織図

会長 W. B. (Bill) Boyd
 理事 重田 信
 理事 渡辺 好政



米山奨学部門

米山奨学委員会
 ◎北川 哲 (大阪南)
 ◎岡田 義昭 (大阪中央)
 ◎池田 文治 (大阪東)
 ◎北川 忠嗣 (大阪東)
 ◎原田 龍之助 (大阪東)
 ◎村橋 郁子 (大阪東)
 ◎野村 義見 (大阪東)
 ◎青木 泰弘 (大阪西)
 ◎奥谷 達也 (大阪西)
 ◎奥谷 英夫 (大阪西)

ロータリー財団部門

ロータリー財団委員会
 ◎佐藤 俊一 (大阪見)
 ◎井川 孝三 (大阪見)
 ◎福家 孝宏 (大阪見)
 ◎溝畑 正信 (大阪見)
 ◎加藤 正信 (大阪見)

国際奉仕部門

国際奉仕委員会
 ◎盛田 三五 (大阪東)
 ◎島井 宏彦 (大阪東)
 ◎佐野 吉彦 (大阪東)
 ◎藤村 達夫 (大阪東)
 ◎乗光 孝明 (大阪東)

青少年奉仕部門

新世代合同委員会
 ◎井上 啓夫 (大阪南)
 ◎泉 博明 (大阪南)
 ◎高橋 敏朗 (大阪南)
 ◎徳田 啓之 (大阪南)
 ◎澤田 昭七 (大阪南)
 ◎加藤 正信 (大阪南)
 ◎北川 隆哲 (大阪南)

社会奉仕部門

社会奉仕委員会
 ◎江上 清夫 (大阪中央)
 ◎浦川 光雄 (大阪中央)
 ◎樋上 幸夫 (大阪中央)
 ◎表 寛治 (大阪中央)
 ◎宮田 明 (大阪中央)
 ◎江藤 光哉 (大阪中央)
 ◎由上 時善 (大阪中央)

職業奉仕部門

職業奉仕委員会
 ◎岩本 洋子 (大阪新)
 ◎村木 茂 (大阪新)
 ◎上田 耕司 (大阪新)
 ◎畑田 耕一 (大阪新)

クラブ奉仕部門

クラブ奉仕・拡大増強委員会
 ◎川上 善司 (大阪野)
 ◎足立 陽一 (大阪野)
 ◎松田 明人 (大阪野)
 ◎南賀 雅典 (大阪野)
 ◎藤澤 勝之 (大阪野)
 ◎小寺 肇 (大阪野)
 ◎奥井 公男 (大阪野)
 ◎井上 家昌 (大阪野)

国際大会記念事業委員会
 ◎近藤 雅臣 (大阪東)
 ◎若林 紀男 (大阪南)
 ◎大谷 透 (大阪南)
 ◎常葉 寺喜雄 (大阪東)
 ◎早嶋 長澤 (大阪東)
 ◎伊藤 利治 (大阪東)
 ◎伊藤 貞男 (大阪東)

研究グループ交換委員会

◎加藤 正勝 (大阪尾)
 ◎野村 中治 (大阪尾)
 ◎吉崎 邦英 (大阪尾)
 ◎武田 隆雄 (大阪尾)
 ◎松井 秀一 (大阪尾)
 ◎新谷 秀一 (大阪尾)

財団情報・増進委員会

◎井川 孝三 (大阪見)
 ◎津和 章 (大阪見)
 ◎松本 秀作 (大阪見)
 ◎吉岡 康雄 (大阪見)

世界社会委員会

◎植村 宏一郎 (大阪野)
 ◎宮里 唯子 (大阪野)
 ◎小林 澄子 (大阪野)
 ◎戸山 孝子 (大阪野)
 ◎青山 清彦 (大阪野)
 ◎浅井 清彦 (大阪野)
 ◎足立 善信 (大阪野)
 ◎新家 武志 (大阪野)
 ◎新谷 秀一 (大阪野)

青少年活動委員会

◎泉 博明 (大阪南)
 ◎岸上 信司 (大阪南)
 ◎水崎 孝和 (大阪南)
 ◎門田 雅重 (大阪南)
 ◎宮田 俊男 (大阪南)
 ◎杉本 昌啓 (大阪南)
 ◎岡本 庸子 (大阪南)
 ◎谷本 二郎 (大阪南)
 ◎金恒 晃裕 (大阪南)
 ◎上野 博幸 (大阪南)
 ◎土井 清士 (大阪南)
 ◎西上 博幸 (大阪南)

ロータリーアクト委員会

◎高橋 敏朗 (大阪守)
 ◎辻本 一高 (大阪守)
 ◎湯本 安徳 (大阪守)
 ◎山村 崇 (大阪守)
 ◎吉岡 惠男 (大阪守)
 ◎井坂 清人 (大阪守)
 ◎坂本 敏和 (大阪守)
 ◎中安 佳久 (大阪守)
 ◎岩田 清次 (大阪守)
 ◎池田 清造 (大阪守)
 ◎津本 清造 (大阪守)
 ◎疋田 清造 (大阪守)

情報・広報委員会

◎左藤 孜 (大阪南)
 ◎西村 真一郎 (大阪南)
 ◎谷口 浩 (大阪南)
 ◎早嶋 茂 (大阪南)
 ◎溝手 敦信 (大阪南)
 ◎木村 芳樹 (大阪南)
 ◎中筋 一朗 (大阪南)

クラブ奉仕・拡大増強委員会

◎川上 善司 (大阪野)
 ◎足立 陽一 (大阪野)
 ◎松田 明人 (大阪野)
 ◎南賀 雅典 (大阪野)
 ◎藤澤 勝之 (大阪野)
 ◎小寺 肇 (大阪野)
 ◎奥井 公男 (大阪野)
 ◎井上 家昌 (大阪野)

●：議長 S：特別顧問 ◎：委員長 ○：副委員長

